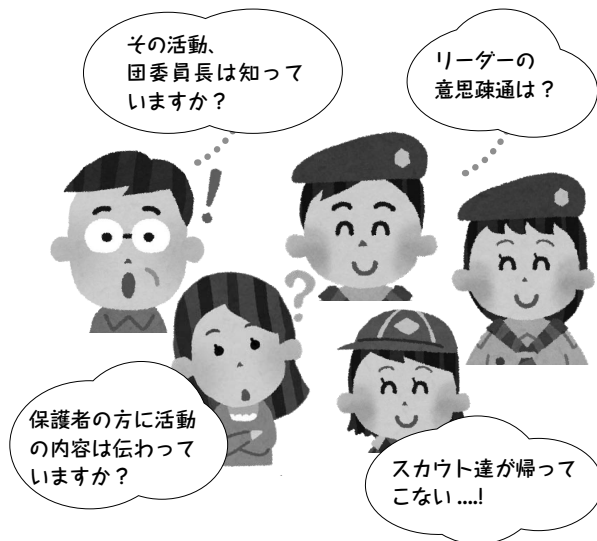


～ あなたの団は大丈夫ですか！？ ～

実践するワークショップ スカウト活動の 危機管理

ボーイスカウトではスカウトの成長を促すために、冒険的な要素が多く危険も伴います。

今回の定型外研修では、ボーイスカウト活動における危機管理についてワークショップ形式で体感していただきます。安全に気を配るばかりで活動を萎縮させてはなりません、多くの方が共通の意識と情報を持っていれば、安心して活動をすすめることもできます。団委員長、団委員、隊指導者、保護者の皆様と多くの方のご参加をお願いいたします。



3月6日(日)

9:00 受付 9:20 ~ 15:20

コミスタ神戸 多目的室 301

〒651-0076 神戸市中央区吾妻通4丁目1-6

- 申込メ切 2月22日(月) 神戸地区指導者委員会 entry@bs-kobe.isf.jp
- 服 装 制服、または私服(団のネッカチーフがあれば着用願います)
- 参加費 700円
- 持ち物 筆記用具、昼食、マイカップ、指導者手帳(指導者など必要な方のみ)
- 申込対象 団委員長 団委員 隊指導者 育成会役員 育成会員
- 定 員 40名(申込み締切りまでに定員に達した場合、各団からのご参加人数を調整させていただくことがあります。)
- 講師紹介 高橋正幸氏(自治体危機管理研修所長・神戸第23団)

プロフィール

平成7年の阪神・淡路大震災に際し、神戸市斎園管理協会総務部長として遺体火葬業務の現場調整にあたり、その後、4年間にわたり仮設住宅の調整、被災者の自立支援の市責任者として被災者、行政機関、報道との連絡調整にあたった。その体験をもとに、神戸市新規採用職員危機管理研修の指導、ロールプレイ危機管理研修T-メソッドを考案・開発、各種職員研修、JICAインドネシア教員研修、東京都葛飾区職員危機管理研修(2009年～延34回)等でT-メソッド研修を指導、その受講者は延べ6,500名に上る。また、東日本大震災神戸市支援員、阪神淡路大震災1.17のつどい実行委員会などの活動とともに、スカウト活動では平成26年度、兵庫連盟危機管理検討委員会委員長として「日本ボーイスカウト兵庫連盟における危機管理のあり方答申」を取りまとめている。現在も自治体危機管理研修所長として多方面で活躍されている。

開催：ボーイスカウト神戸地区 指導者委員会・神戸地区トレーニングチーム

プログラム

- § 1. はじめに～危機管理研修の目的
- § 2. 危機管理を考える
- § 3. 日常の延長線上の危機 (Risk) ～想定すべき状況下の危機管理～
- § 4. 危機管理下のチーム・スピリットとミッション
- § 5. 非日常の危機 (Crisis) ～想定外の状況下の危機管理～
- § 6. 課題事例研究③～日常を超える非日常の危機～
- § 7. 課題事例研究④～メディア対応～
- § 8. そなえよつねに～ワークショップのまとめとして～
- § 9. 質疑応答と全体のまとめ

研修会参加申込書 兼 アンケート

- 3月6日(日)の研修会に_____名申込みます。
- この日は参加できないが、同様の研修を次回も希望したい(参加予定人数_____)
- この研修会で知りたいことなど、なんでもご記入ください。(今回参加されない団でもご記入を)

「団における危機管理」研修&フォーラム (平成 28 年 2 月 22 日 月曜日締切)

お申込み者 ご氏名 () 役務 ()

	氏名 (上段:ふりがな)	性別	団内役務または 保護者をご記入	団号	連絡先 (上段:TEL 下団段:e-mail)
1					
2					
3					
4					
5					
6					

★申込み書は添付の EXCEL をご利用ください。EXCEL が不可の場合は、メールに直接ご記入ください。